

あわら 市議会だより



第84号

令和7年5月15日 発行

令和7年度予算成立!
新たなスタート

定例会報告	2 p
委員会報告	3 p
一般質問	4-10 p
次期会期日程	10 p
議決結果	11 p
特集ギカツ	12 p



議会の様子が YouTube で視聴できます。

あわら市議会 YouTube

検索

令和7年3月定例会を 開催しました

2.25 » 3.21

2月25日から25日間にわたって、
3月定例会が開催されました。

定例会では、議案32件、請願4件、
陳情2件を審議。3月6日、7日には
12人の議員が一般質問を行いました。

3月21日の本会議では、常任委員会での審査結果が
報告され、採決の結果、すべての議案が賛成全員または
賛成多数で可決されました。なお、請願4件と陳情2件
のうち、1件は趣旨採択、5件は不採択となりました。

3月定例会の流れ

2月25日
本会議

・議案上程
・会期決定

2月25日
予算決算
常任委員会

・予算質疑

3月6日/7日
本会議

・一般質問

3月11日/12日
総務厚生
常任委員会

・議案審査

▶ P4~10 一般質問

▶ P3 委員会報告

3月13日/14日/17日
産業建設教育
常任委員会

・議案審査

3月19日
予算決算
常任委員会

▶ P3 委員会報告

▶ P3 委員会報告

3月21日
本会議

・質疑・討論
・採決

▶ P11 議決結果

主な議案をチェック

令和7年度当初予算

一般会計当初予算174億3千万円をはじめ、特別会計、企業会計などの総額は252億9,824万円となりました。令和7年度当初予算は、「子ども・若者世代が住み続けたくなるまちづくり」、「新幹線効果を活かす観光まちづくり」、「暮らしを守る安全・安心のまちづくり」、「未来への挑戦、持続可能なまちづくり」の4つのテーマのもと、力強く活気あふれる将来を見据えたまちづくりのための予算が計上されています。

令和6年度補正予算

一般会計、特別会計、企業会計で総額18億982万7千円を増額し、令和6年度予算の総額は254億6,616万5千円となりました。3月定例会では、主に、災害時用の給水車の整備や、小学校の照明のLED化と理科室の空調設備を整備するための予算が計上されています。

令和7年度当初予算成立

総額252億9,824万円

ふるさと納税返礼品 開発等支援事業補助金

1億円

ふるさと納税による寄附を推進
するため、返礼品の開発や増産
などの経費を補助します。

＼その事業、ふるさと納税で実現しませんか？／
企業と地方をつなぐ、あたらしい仕組み。

ふるさと
納税 3.0

新

えちぜん鉄道あわら 湯のまち駅にスロープを設置

4,480万円

ベビーカーや車いすでの利用
者の利便性を高めるため、駅の
ホームにスロープを設置します。



新

中学校の体育館に 空調設備を整備

3億330万円

部活動や避難所としての利用環
境の改善のため、芦原中学校と
金津中学校の体育館に空調設
備を整備します。



新

常任委員会

令和7年度 一般会計予算

■市民協働課 移住定住の促進

問 事業費が前年度比で減となっている。移住定住対策に支障はないのか。

答 令和7年度は100人の移住者を見込んでいる。4月1日から移住定住特設サイトの運用を開始し、移住者獲得を推進していく。

■総務課 投票率の向上

問 投票率の向上に向けて、利便性の高い場所に臨時の期日前投票所の設置を検討しているのか。

答 市議会議員選挙と市長選挙は選挙期間が短

く、その間に膨大な事務を正確かつ迅速に執行しなければならないため、設置は見送る。しかし、7月予定の参議院議員選挙ではアフレアに設置を検討する。

■農林水産課 スマート農業の支援

問 どのようなスマート農業技術の導入を見込み、予算を計上しているのか。

答 主に自動操舵システムの導入を見込んでいる。県の補助事業に上乗せする形で農業者を支援する。今後、市単独による補助も検討していく。

■商工労働課 スモール・ビジネス支援

問 新規創業者のビジネスが継続できるようサポートを強化すべきではないか。

答 経営が厳しいとの声もあるため、商工会や県産業支援センターと連携し、サポートを強化していきたい。

■建設課 竹田川周遊エリア整備事業

問 駅前児童公園を含めたエリアの周遊機能を高めるため、看板の設置や空き地活用を十分に検討し、多くの人が活用しやすい環境整備を進めて

ほしい。また、公園に訪れる人のターゲットを設定し、来園者数などの想定まで行い、整備計画に明示すべきだ。

問 地域住民や関係団体等の意見を踏まえ、供用開始以降も改善を継続し、地域住民や観光客にとって活用しやすい場所にしていく。

■スポーツ課 新しいスポーツ行事

問 市民体育祭に代わる新たなスポーツ行事を市民に浸透させるため、広報戦略を強化すべきではないか。

答 幅広い年代が参加できるように内容を検討しており、早い段階から広報

令和7年度 水道事業会計予算

稲荷山配水場の更新

問 遺跡発掘調査を終えてから工事着手となるが、工期はどの程度を見込んでいるのか。

問 令和7年度上期に遺跡発掘調査を実施し、秋頃に詳細設計を終え、年度末に工事を発注する予定だ。

令和7年度 芦原温泉上水道財産区水道事業会計予算

問 PFAS（ピーファス）が検出されたことを受けて、水質検査を実施する

のか。

答 水質に問題はないが、通常の水質検査に加え、PFASをより詳しく監視する必要があると判断し、検査項目を増やした。

令和7年度 農業者労働災害共済特別会計予算

共済掛金の見直し

問 共済掛金の設定を見直す必要があるのではないか。

答 労働災害共済事業は単年度では赤字となっており、今後、坂井市と連携しながら制度改正に向けた検討を進めたい。

17 keyword キーワード 一般質問

CHECK!



市議会では、議員が市民の声を代弁して「一般質問」を行っています。
今回は12人の議員が注目のテーマを取り上げました。
どんな質問が飛び交ったのか、キーワードで一気にチェックしてみましょう！
あなたの「気になる」が議論されているかもしれませんよ！

● 会計年度任用職員	● 市長公約の進捗	● 基幹相談支援センター	● PDCAサイクルとEBPM	● 合併の議論	● ふるさと納税3.0	● 子育て支援	● 国保税均等割の見直し	● 震災被害の復興支援	● 認知症基本法	● 児童数減少の課題と対策	● 保育士の労働環境改善	● 地域防災計画	● ランドセル症候群	● 街路樹の維持管理	● サードプレイス	● 小学校の給食費無償化
P.4	P.5	P.5	P.6	P.6	P.6	P.7	P.7	P.7	P.8	P.8	P.8	P.9	P.9	P.9	P.10	P.10

・会計年度任用職員の雇用安定と 正規職員増員に向けた課題と対 応について

木下 会計年度任用職員の業務の実態に見合った報酬体系や昇給制度を整備するべきではないか。

総務部長 会計年度任用職員の給与は、地域の実情に基づき適切に設定しており、一般行政職に準ずる職員は大卒初任給を超えない範囲、資格専門職は職務内容等に応じて高い号給を設定しています。

木下 会計年度任用職員の業務範囲を適切に設定し、負担の軽減を図るべきではないか。

総務部長 会計年度任用職員の募集時には職務内容を明示し、面接で業務説明を行い、業務変更時也十分な説明を行っています。今後とも相談しやすい環境づくりと協力体制の強化に努め、業務負担の軽減を図ります。

木下 会計年度任用職員の研修制度の現状と改善策は。

総務部長 市全体のサービス向上のため、正規・非正規を問わず職員のスキルアップに努め、OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）を通じた人材育成や希望制の研修を実施しています。今後も研修回数を増やし、研修動画を作成するなど、多様な方法で人材育成を進めていきます。

木下 勇二 議員



木下 非常勤職員から正規職員への移行を促進し、正規職員の増加を図るべきではないか。

総務部長 本市でも若手職員の離職が増加傾向にあるため、令和6年度は採用の上限年齢を引き上げました。これにより、希望する会計年度任用職員が採用試験を受験し、6人が内定しました。

木下 今後も採用の道が開かれることに期待したい。



▲一般質問の様子を
YouTubeでチェック

・市長の公約の進捗に

ついて

八木 市長は5つの公約を掲げて、政策や目標を市民のために実施しているが、達成状況についてどのように考えているのか。

市長 市長選挙で掲げた公約には、アフレアを核とした賑わい創出イベントの実施、竹田川周遊エリアの整備構想の策定、福祉まるごと相談室の設置など一定の成果を上げたものもあれば、給食費負担軽減事業など依然として道半ばの事業や大型商業施設の誘致については厳しい状況にあります。また、北陸新幹線開業効果の市内全域への波及や、激甚化、頻発化する災害への対

応、DX、ゼロカーボン事業の推進など、新たな課題にも積極的に取り組んできました。市民の皆様の声に耳を傾け、その声に応じながら明るい未来を作っていく考えの下、職員と意思を一つにこれからも市政を前に進めていきます。

八木 県水の責任水量

制度の見直しについて、全く使用していない水に對して、年間1億4,000万円もの費用を市が県に支払っている状況だ。持続可能な行政運営を実現するためにも、まず直面している県水問題の解決に向けて市長はどのような考えを持っているか。

八木 秀雄 議員



市長 県水の責任水量

制度の見直しについては、これまでも県に要望を行っており、令和6年10月に県との間で解決すべき第一の課題として知事に直接要望しました。また、副市長と福井県の産業労働部長との間で協議を行うとともに、県公営企業課と市の担当部課長レベルでの協議を続けています。今後とも解決に向けて市長として、しっかりと取り組んでいきます。

・福祉部門の相談体制に

ついて

堀田 あわらし市単独での設置となる基幹相談支援センターの役割、体制について、これまで共同で行っていた場合と何か変わるところはあるのか。

健康福祉部長 あわらし

市民に特化した相談支援が可能となります。人員については、2名の職員を配置するなど実質的に増員となり、きめ細やかな助言指導が可能となります。

堀田 事業の引継ぎや

ノウハウの共有と、あわらし市単独で基幹相談支援センターを立ち上げる効果の検証について伺いたい。

健康福祉部長 事業の引

継ぎを確実にし、共同運営の際のノウハウを十分に共有し、今後の運営に活かしていきます。また、市単独の基幹相談支援センターと二つの相談支援事業所が緊密に連携する体制を構築します。そして、市も加わった定期的な連携会議を開催し、基幹相談支援センターが単独となった効果検証を行っていきます。

堀田 障がい者の社会

参加に対し、どのような施策や方向性を考えているのか。

健康福祉部長 県が行う

企業への理解促進に向けた研修会や障がい者向け説明会に協力するなど、啓発活動が続けてい

堀田あけみ 議員



きます。また、ハローワークや障害者就業・生活支援センターなどの専門機関と連携し、障がい者と企業をつなぐ伴走支援を行います。

堀田 事業者への支援をどのように考えているのか。

健康福祉部長 福祉事業

者への支援は、坂井地区障害児・者総合支援協議会において、関係者による連携や支援体制の協議を行っています。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・市民の声を起点とした 行政運営を

青柳 PDCAサイクルをどのように活用し、業務効率化を進めているのか。

創造戦略部長 市政の透明性向上と市民への説明責任を果たすため、毎年度、PDCAサイクルを活用した行政評価を実施しています。また、勤務評価でも活用しており、職員一人一人の業務に対する適性や能力を把握し、適材適所な職員配置に努めています。

市長 市民アンケートなどの各種調査を毎年実施するほか、市長ふれあいトークや市政懇談会では、市民の皆様の声を市政に反映することを目的として、市民の皆様と市長がまちづくりや地域の課題について直接対話する機会を設けています。

青柳 市民の声をこれまで以上に市政に反映するために、EBPM（証拠に基づく政策立案）を進める考えはあるか。また、エビデンスを収集し、政策に活かすために、市では具体的にどのような取り組みを行っているのか。さらに収集したデータをどのように

政策の見直しや改善に活かしていくのか。

創造戦略部長 あわらし市総合振興計画の策定において、EBPMを採用しています。具体的には、アンケート調査を通して多数の意見や意識といった定量的なエビデンスを把握するほか、ワークショップを通してアンケート調査では捉えきれないような定性的なエビデンスの把握を行っています。

青柳 篤始 議員



▲一般質問の様子を
YouTubeでチェック

・次なる合併も含めた広域行政 の推進について あわらし市ふるさと納税3.0について

次なる合併も含めた広域行政の推進について

島田 21年前の平成16

年3月合併時のあわらし市の人口は3万1,000人だったが、25年後の2050年には1万7,000人となる推計であり、これは合併当時の旧青原町の人口約1万4,000人がゼロとなる推計だが、回避することとは困難だ。人口減少により懸念される深刻な課題は多岐にわたり、これまでは合併特例債（借金）などの有利な財政措置により市政運営をしてきたが、今後はあわらし市単独での自治体存続は厳しい状況となり、次

なる合併の議論や更なる広域行政を進めるべきと考えるが、次なる合併について市長の所見を伺う。

市長 今は合併を検討する時期では無いと認識しているが、近隣自治体との連携強化が不可欠と考えており、住民の声も受け止め、広域行政の推進に向け連携・協力のあり方を慎重に探っていきます。

あわらし市ふるさと納税3.0について

島田 ふるさと納税の寄附金を原資として最大2,000万円の補助金を交付する新制度を令和7年度からスタートするが、新規事業者も

島田 俊哉 議員



補助対象事業者とすべきではないか。また、補助金の下限目標額が400万円では、小規模事業者にはハードルが高く、下限額の引き下げが必要ではないか。

創造戦略部長 新規事業者にはまずふるさと納税事業に参加してもらった上で、ふるさと納税3.0に挑戦していただきたいと考えています。補助金の下限目標額の引き下げについては、令和7年度の実施状況を鑑み検討したいと考えています。



▲一般質問の様子を
YouTubeでチェック

子育て支援対策について

北浦 あわらし市独自の子育て支援施策はあるのか。

健康福祉部長 子どもが満1歳の誕生日を迎えた際に、3万円を支給する「あわらしこファーストバースデーお祝い金」や専用サイト、LINEを通して産婦人科や小児科の医師や助産師に無料で相談ができる「産婦人科・小児科オンライン相談サービス」があります。

北浦 子どもの遊び場整備を行う複合福祉施設に、こども家庭センターを設け、全ての妊産婦から子育て世帯までの一体的な相談支援を行っているかどうか。

健康福祉部長 複合福祉施設に子どもに関する機能を集約することは望ましいことですが、シルバー人材センターなどの事務所もあるため、現時点では、こども家庭センターを2か所で運営し、関係機関との連携を密にするなど、子育て支援の充実を図りたいと考えています。

施設に子どもに関する機能を集約することは望ましいことですが、シ

北浦 子育て支援センターと複合福祉施設内に整備予定の子どもの遊び場を連携させ、どのように子育て支援に活かしていくのか。

健康福祉部長 子育て支援センターは、主に3歳未満の子どもと保護者を対象としています。今後、小さな子どもと訪れた保護者は、2階の

子育て支援センターで子育て相談をした後、3階の遊び場で子どもを遊ばせることができます。年齢の違う子どもを連れた家族であれば、保護者は小さい子どもと子育て支援センターで、大きい子どもは遊び場で、それぞれにあった場所で時間を過ごすことができます。

北浦 博憲 議員



国民健康保険税の

均等割の見直しを

震災被害の復興支援強化を

国民健康保険税の均等割の見直しを

に逆行しており、税額を引き下げるよう見直しをすべきではないか。

山 国民健康保険税額は、所得割、平等割、均等割によって算定されているが、あわらし市の税額は県内の他自治体と比較してどのようか。

市民生活部長 市民1人当たり税額は、10万985円で、県内17市町のなかで、高い方から8番目です。

山 基本的に、すべての税金は能力に応じて負担すべきものであり、平等割、均等割は負担能力に関係なく課税されるため、廃止すべきだと考える。特に、均等割は、家族の人数が増えれば税額が増えるため、子育て支援

山 能登半島地震から約1年が過ぎたが、市内の被災と復興の状況はどのようか。

震災被害の復興支援強化を

山 能登半島地震からの発行件数でみると、住家の大規模半壊1件、半壊11件、準半壊11件、一部損壊563件、非住家1

総務部長 罹災証明書の発行件数でみると、住家の大規模半壊1件、半壊11件、準半壊11件、一部損壊563件、非住家1

山川 知一郎 議員



23件、合計709件です。復興状況については、被災された皆様は、生活再建に向けて新たな一歩を踏み出されているものと認識しています。

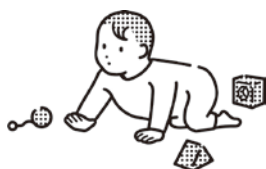
山 全壊した住居を解体して建て替える場合の支援はどのようか。

総務部長 国と同等水準の最高300万円を支援する制度を設けました。

山 その額では、建物を解体し、撤去するだけでも足りないのではないかと思います。国に対して、大幅な増額を求めるべきだと思う。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・認知症基本法に対応した市の政策について

・児童数の減少による課題と対策について

認知症基本法に対応した市の政策について

室谷 令和5年6月に

認知症基本法が成立し、新しい認知症観が示された。認知症の人が、社会の対等な構成員として、地域において安全に安心して自立した日常生活を営むことができ

るように、さらに意見を表明し、社会活動に参加する機会の確保をこの基本法では求めている。市はどのように取り組んでいるか。

健康福祉部理事 認知症力フエや家族介護者交流会の場などを活用し、認知症の方同士が自らの体験や希望を語り合え

る場を設け、行政やサービス事業所に対しての意見を発信する機会などを持てるように努めています。今後はボランティア活動やイベントへの参加などができる環境整備に努めます。

児童数の減少による課題と対策について

室谷 教育面やスポーツ面でのような対策を行っているか。

教育長 市合併時に2,998人だった児童生徒数は、令和6年5月時点で1,776人と年々減少しています。少人数の小学校では、縦割り活動など異なる学年間での交流を積極的に行い、

リーダーシップの醸成や思いやる心を育てています。またICTを活用して他学校との遠隔授業を行い、多様な価値観を学んでいます。次に中学校の部活動では令和5年度から地域移行を進めております。休日の部活動を令和7年度までに移行し、その上で、平日の移行を検討し、生徒のニーズに沿った活動の選択肢を増やす考えです。人数の少ない部活動では、両中学校が合同で活動できる取り組みも推進しています。

室谷陽一郎 議員



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・保育士が働きやすい職場づくりについて

三上 保育の現場の現状や上がってくる要望について教えてほしい。

市長 私立園からは運営や事業に対する金銭的な補助金創設に関する要望を令和5年度、6年度にいただいています。また、公立園からは清掃などの保育業務以外の業務対応や各種休暇等の取得に伴う早番遅番といった勤務体制づくりが大変であるという声があることは承知しています。

三上 市が改善に取り組んでいることは何か。

市長 私立園の補助金創設に係る要望については、現在、国や県による様々な補助金を活用し、

令和5年度には全ての私立園に対し、総額約7,000万円の補助金を交付しています。令和7年度からは、遠足等の園外活動に係る費用に対する補助金を予算計上したところです。公立園については、今年度から、保育業務以外の業務の軽減を図るために、トイレ清掃について委託を始めたところです。また、令和7年度は、シフト勤務体制の軽減を図るため、遅番早番のスポット的な補助員を配置するための予算を計上し、引き続き保育士の業務負担軽減に努めています。

三上 今後どのような職場環境を目指すのか。

三上寛了 議員



市長 市としては、各保育現場の現状を把握し、課題解決に向けた支援を継続していくことが重要だと考えています。今後も保育士の方々と共に、子どもたちの笑顔があふれる、温かく、質の高い保育環境を少しずつでもつくり上げていきたいと考えています。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

あわらし市地域防災計画

ランドセル症候群について

あわらし市地域防災計画について

平野 市道の陥没の発生頻度と原因はどのようか。今後、路面下空洞調査を実施する考えはないか。

土木部長 令和5年度に路面陥没が3件あり、その原因は、水路や排水ますの継ぎ目から周囲の土砂が管路内に流れ込むことでした。今後も道路パトロールによる調査を行い、原因究明と適切な補修を行い、大規模災害時には、路面下空洞調査を活用し、早期発見と迅速な補修を行います。

平野 災害時に活用できる井戸はいくつあるか。また、災害用井戸の整備と登録をする考えはないか。

について

総務部長 市では給水量の不足に備えて5か所の井戸を所有しています

が、これらの井戸は配水場に直接給水を行うため、災害時には活用できません。なお、芦原温泉

上水道財産区では6か所の井戸を所有しており、災害時も活用が可能です。災害用井戸の整備と登録については、今後

策定される国のガイドラインの内容を精査し、費用対効果に優れ、より実効性の高い対応策を考えていきます。

ランドセル症候群について

平野 ランドセル症候群の実態調査を実施したことはあるか。

教育部長 実態調査は未実施ですが、児童や保

平野 時夫 議員



護者から荷物が重いと聞いた声はなく、肩凝りや腰痛などの症状が報告された事例もありません。

平野 置き勉やランドセル以外の鞆を選択することについて、どのような考えか。

教育部長 置き勉は子どもたちの負担軽減に有効な手段と考えています。また、通学用の鞆の指定はありませんので、家庭の判断で、布製ランドセルやリュックサックを選択することも可能です。

街路樹の維持管理

について

卯目 街路樹のある道路は何か所あるのか。また、維持管理はどれくらいの周期で行っており、年間の維持管理経費はどれくらいか。

土木部理事 街路樹のある市道は30路線あり、約1,600本が植樹されています。維持管理には約500万円の費用がかかっており、枝の剪定や病害虫防除のための薬剤散布、植樹ます内の除草などを行っています。成長の早いナンキンハゼは毎年、それ以外の樹木は5年に1回を目安に、生育状況を確認しながら計画的に剪定しています。また、薬剤散布や除草などは、状況に応じ

て実施しております。

卯目 今後の維持管理を考えた場合、不要と思われる街路樹の思い切った伐採も視野に入れるなど全体を見直す必要はないか。

土木部理事 街路樹維持管理計画を基に、長期的には街路樹を減らす方向で維持管理や伐採を行っています。

卯目 街路樹などのスクラップ・アンド・ビルドを考えると、予算はどのくらい見積もっているのか。

土木部理事 街路樹や植樹ますの撤去、その周辺の補修で約8,000万円が必要です。しかし、計画どおりに進めるこ

卯目ひろみ 議員



とで維持管理にかかる費用は徐々に減って行くこととなります。国の交付金等も活用しながら、緊急度の高い箇所から順次進めて行きます。

卯目 今後は地区の方や近隣の住民とも相談しながら維持管理を進めて欲しい。政策は思い切りと決断力が必要である。今後もメリハリをつけた政策を実行して欲しい。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

サードプレイスについて ・学校給食の現状と小学校無償化に向けた取り組みについて

サードプレイスについて

北島 家庭でも学校でもない第3のインフォーマルな公共生活の場である「サードプレイス」について、どのように考えているのか。

市長 子どもは家庭を基盤とし、地域や学校など様々な場所において成長する存在です。しかし、学校に行けない子どもや様々な課題や事情を抱えた子どもは、学校以外に安心して過ごせる場所や相談先が必要だと考えています。

北島 どのような連携や支援が考えられるか。

市長 市では、学校に行きづらくなった子どもたちの居場所として、「いき

いき教室」を設置し、学校に戻るための自立支援を行っています。また、市が民間業者に委託し、アウトリーチ型の支援を2事業所で始めています。さらに、子ども自らがいつでも相談できる情報提供も必要であると考え、国や県が作成した24時間利用できる電話相談窓口のカードやミニレターなどを児童・生徒全員に配布し、周知を図っています。

北島 小学校の給食費の全額無償化への考えはどのようなか。

市長 子育て世帯を支援するために何とか実現したいという強い思いです。国、県に対し、学校給食費無償化を強く要望し、国の動向を見極めながら、市の財政状況を総合的に勘案し、小学校の給食費の全額無償化に向けた検討を引き続き行つてまいります。

北島 学校給食の現状はどのようなか。

教育長 令和4年9月から小・中学校の給食費

北島 登 議員



の半額支援を行いました。さらに、令和6年10月からは中学校の給食費を全額無償化しました。

北島 小学校の給食費の全額無償化への考えはどのようなか。

市長 子育て世帯を支援するために何とか実現したいという強い思いです。国、県に対し、学校給食費無償化を強く要望し、国の動向を見極めながら、市の財政状況を総合的に勘案し、小学校の給食費の全額無償化に向けた検討を引き続き行つてまいります。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

6月定例会のお知らせ

主な会議の予定

5月22日(木)	本会議(開会)
	予算決算常任委員会
26日(月)	本会議(一般質問)
27日(火)	本会議(一般質問)
28日(水)	総務厚生常任委員会
29日(水)	産業建設教育常任委員会
6月2日(月)	予算決算常任委員会
	本会議(閉会)

会議の様子を配信しています

会議の様子をパソコン、スマートフォンなどから市議会公式YouTubeにアクセスしてご覧ください。



▲公式 YouTube

デジタル版 議会だより

最新号はもちろん、過去の議会だよりをデジタル版でご覧いただけます。QRコードを読み込んで今すぐチェック！



▲議会だより

編集・発行責任者

議長

毛利 純 雄

広報編集特別委員会

委員長

平野 時 夫

副委員長

堀田 あけみ

委員

三上 寛 二

木下 勇 了

北浦 博 憲

室谷 陽 一郎

山川 知 一郎

第125回 あわら市議会定例会 議案等の議決結果及び各議員表決

区 分	議案 番号	○…賛成 ×…反対 退…退席 除…除斥 欠…欠席 ※議長は採決に加わらないので「/」で表示	議決 結果	表決		議 員 名																
				賛 成	反 対	三 上 寛 了	青 柳 篤 始	島 田 俊 哉	木 下 勇 二	北 浦 博 憲	堀 田 あ け み	室 谷 陽 一 郎	平 野 時 夫	毛 利 純 雄	吉 田 太 一	山 田 重 喜	八 木 秀 雄	笹 原 幸 信	山 川 知 一 郎	北 島 登	卯 目 ひ ろ み	
市 長 提 出 議 案	1	令和6年度あわら市一般会計補正予算(第10号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	令和6年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	令和6年度あわら市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	令和6年度あわら市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第3号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	5	令和6年度あわら市水道事業会計補正予算(第4号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	令和6年度あわら市公共下水道事業会計補正予算(第5号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	令和6年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計補正予算(第3号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	令和7年度あわら市一般会計予算	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	×	○	○	○
	9	令和7年度あわら市国民健康保険特別会計予算	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	×	○	○	○
	10	令和7年度あわら市後期高齢者医療特別会計予算	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	令和7年度あわら市農業者労働災害共済特別会計予算	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	令和7年度あわら市公共用地先行取得事業特別会計予算	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	13	令和7年度あわら市水道事業会計予算	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	令和7年度あわら市公共下水道事業会計予算	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	令和7年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計予算	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	16	あわら市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	あわら市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及びあわら市職員の 育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	18	あわら市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	19	あわら市一般職の職員等の旅費支給に関する条例等の一部を改正す る条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	20	あわら市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用 等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に 関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	21	あわら市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める 条例の一部を改正する条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	あわら市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	23	あわら市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	24	あわら市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	25	市道路線の認定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	26	あわら市教育委員会委員の任命について	同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	27	あわら市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	あわら市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	29	あわら市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	30	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
発 議	1	あわら市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条 例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	あわら市議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条 例の一部を改正する条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請 願	1	選択的夫婦別姓制度をただちに導入することを求めるよう国に意見 書採択を求める請願書	不採択	2	13	○	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	○	×	×	×	
	2	訪問介護報酬引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行 うことを国に求める意見書提出の請願	不採択	4	11	×	×	○	×	×	×	○	×	/	×	×	×	○	○	×	×	
	3	従来(紙)の健康保険証の発行存続を求める意見書提出の請願	不採択	1	14	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	○	×	×	
	4	ノーベル平和賞を授賞した被爆者の願いである、日本政府に核兵器 禁止条約への調印・批准を求める意見書提出を求める請願書	不採択	6	9	○	×	×	×	×	×	○	×	/	×	×	○	○	○	×	○	
陳 情	1	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択 を求める陳情書	不採択	1	14	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	○	×	×	×	
	2	教員の長時間労働の抜本的改善を求める意見書提出に関する陳情	趣旨採択	15	0	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○

あわら市議会



Revitalization of Council



2025 6.15 (日)

あわら市議会議員選挙

